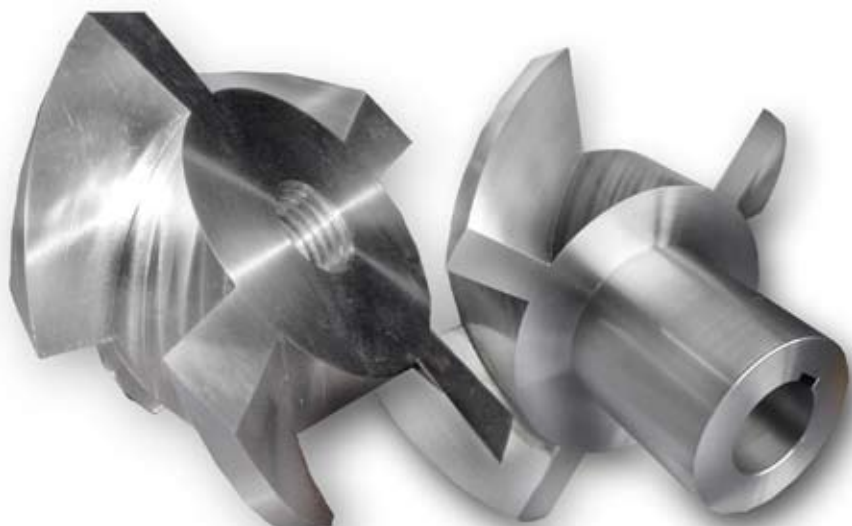


# ステンレス加工の鉄人が創造する オールカスタマイズ製品 難加工品ほど積極的に受注



同社が誇る攪拌装置の羽根部分。高度な技術を切磋琢磨し、より良くより早くを目標に実績を積む

高いステンレス加工技術で  
粉碎機の羽根をはじめとする  
一体化製品をハンドメイド

明光鐵工所は、技を武器とする職人の集団だ。非鉄金属、特にステンレスを加工し機械部品を製造する。製品は全て受注生産した一点もの。ミリ単位の緻密な形を持つ工業部品を、溶接等は一切せずに一つの丸棒から作り上げる一体化製品だ。キズや歪みが生じやすいステンレスの加工は極めて難しく、職人の中でも技を磨き上げた匠にしか作ることはいできない。

全てオーダーメイドかつ高性能な製品でありながら、納期が早いのも顧客から信頼される理由の一つだ。材料から機械加工、熱処理、表面処理、歯車加工、溶接まで社内で一貫して加工を施し、クライアントはパーツを組み立てるだけという状態で納入する方針を貫く。材料から生まれたパーツは、図面一枚に対し一個という規模の少量多品種製造。決して、量産体制はとらない。他社が逃げ出すような難加工品、難削材にも意欲的に取り組むのは、不可能を可能にする自信ゆえだ。



劇場用緞帳巻上ドラム

その高度な技術を駆使して作られるのは、例えば攪拌装置に使われている羽根。化学薬品等を微粉体にする際、すり鉢と摩りこぎの働きをする部分で、固体を約100ミクロンというナノレベルのサイズにまで粉碎することを可能にする。さらに、食品や薬品、化粧品等の原料となる微粉体を作るため、異物混入は許されない。ゆえに、衛生面や安全性にも細心の注意を払う。最終エンドユーザーは食品メーカー、化粧品メーカー等、大手ばかりだ。

## 挑戦と質素節約を信条に 緞帳巻き上げ装置から 原発検査口ポットまで加工

同社の主力商品の二つに、緞帳の巻き上げ装置がある。緞帳とは劇場などで舞台と観客席の間に垂れ下がる仕切り幕のこと。織物で作られる緞帳は非常に大きく重量は何トンにもなるため、操作時に幕がよれたり歪んだりしないよう水平を保ちながら均一に巻き上げる必要がある。また、大切なのは静動性。できるだけ音をたてずに巻き上げるには、機械自体の精度が求められる。この技術が認められ、国内はもちろん、海外のオペラハウスや国立劇場でも同社の装置が使用されている。

また原子力発電装置にも携わる。発電機械の配管パイプの内径状況を調べるメンテナンスロボットの手掛ける等、常に正確さや強度など高レベルな技術が欠かせない製品づくりに取り組んでいる。

同社が経営方針として掲げるのは、質素節約。景気が良い時は贅沢をせず未来に対して備え、不景気の時こそ設備投資をする。常に将来を見据え、堅実な資金運営をすることで、挑戦と向上を可能にしている。

**Company Profile**

有限会社明光鐵工所

住所 〒554-0024 大阪市此花区島屋3-8-4

TEL 06-6462-8723

FAX 06-6462-8715

創業 昭和39年4月

資本金 300万円

従業員 6名

代表取締役 大原 國世

http://meikou-ironworks.com

大阪22

■主な事業内容  
機械加工、組立 等


■主な取引先  
化学機械・装置製造メーカー  
発電装置等製造メーカー

他社には負けない

当社のもづくり  
セールスポイント

積極的な若手育成で活力溢れる  
元気な企業として社会に挑戦!

代表取締役 大原 國世 さん



当社は人材育成にも力を入れています。若い人材を受け入れ社会人としての心構えから仕事の内容、厳しさまでを教えます。失敗も経験、仕事のうちです。失敗したことよりも普段どういう作業をしているか、失敗後の対応等に注目。向上心を高めることが重要です。